



第36回木材保存技術奨励賞

「深浸潤処理用－表面処理剤 モクボーHP の開発
－薬剤の性能および木材への浸透性評価－」

西澤翔太（大日本木材防腐株式会社）

2012年3月に筑波大学大学院生命環境科学研究科を修了し、同年4月に大日本木材防腐株式会社に入社。研究開発グループに配属。木材保存剤および保存処理技術の研究開発等に従事し、現在に至る。

業 績 概 要

平成12年の住宅の品質確保の促進等に関する法律（品確法）の制定以降、住宅品質の向上のため木材の寸法精度や保存処理品質に対する要求が高まってきた。また、高温セット処理を含む高温乾燥を行った国産材の利用も盛んとなっている。

当社が従来製造してきた水溶性薬剤を用いた加圧注入処理木材では、処理後の人工乾燥工程を含めて木材の寸法変化が大きい、高温乾燥を行った国産材の処理には不向きなどの欠点があった。これらの解決のため、一部で実用化されている油性表面処理薬剤を用いた深浸潤処理の手法を用い、建築用の保存処理木材の実用化を目的に「モクボーHP」の開発を行った。種々の試験を実施することで、「モクボーHP」が深浸潤処理用として十分な浸透性、防腐・防蟻性能を持つことが確認でき、公益社団法人日本木材保存協会の表面処理用（油性）－深浸潤用の認定を取得することができた。

今後の取り組み

今回開発した「モクボーHP」を用いた保存処理製品の実用化に向けて、今後も検討を続けてまいります。木質材料の用途に応じた適切な保存処理方法の開発を通じて、木材資源の利活用に貢献できればと考えています。

主な成果報告

- 1) 西澤翔太，赤堀裕一，蒔田章，石野信之，三井勝也：PEG のエステル化による溶脱防止，公益社団法人日本木材保存協会第33回年次大会，88-89（2017）。
- 2) 西澤翔太，赤堀裕一，石野信之，野村昌樹，福田聡史：UV レーザインサイジングによる保存処理薬剤の浸透性向上，公益社団法人日本木材保存協会 第36回オンライン年次大会（2020）。
- 3) 西澤翔太，宮下敬太，浅井源二郎，石野信之，赤堀裕一：深浸潤処理用薬剤「モクボーHP」の開発，木材保存，**51**（3），116-125（2025）。